

聞き取り調査のまとめ票

訪問地	B	参加者	5人
<p>どのような困難を持っているか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語性 LD と言われた</li> <li>・ 自閉的な傾向がある</li> <li>・ 算数、図形が苦手</li> <li>・ 運動、手先が不器用、空間処理が苦手</li> <li>・ 言葉の組み立てが苦手、手先が不器用</li> </ul>			
<p>どのように対応しているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親の会の会合で(対象児・者として)自分の体験を話した</li> <li>・ アルバイトをしている</li> <li>・ アメリカの大学の日本校へ通っている</li> </ul>			
<p>どのような福祉があれば良いと思うか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療が受けられるというのであれば障害という言葉にこだわらない</li> <li>・ 「ウチの子は他の子と違う」と思ったときに就学前でも相談に行ける場所が必要</li> <li>・ 通所施設、通園施設が欲しい</li> <li>・ 子供のことを受け入れられないという母親がいる</li> <li>・ 地方では「どうして子供を積極的に障害児にしたがるのか？」という目で見られてしまう</li> <li>・ 養護教諭がすべて優秀というわけではない、ひとくちに障害児教師といっても個人差が大きい</li> </ul>			
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母親 5 人</li> </ul>			

聞き取り調査のまとめ票

訪問地	C	参加者	8人
<p>どのような困難を持っているか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学面で力がつかなかった</li> <li>・ 二次障害が出た</li> <li>・ 3歳のときMBDといわれた、手先が不器用</li> <li>・ 言葉の遅れがあった、複雑な漢字は間違える</li> <li>・ LDとは言われなかったが、その傾向にあると言われた</li> <li>・ ADHDといわれた</li> </ul>			
<p>どのように対応しているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルバイト先で友人がジョブ・コーチの役割をしてくれている</li> <li>・ 精神科のクリニックに通院している</li> <li>・ 市の発達医療センターでカウンセリングを受けている</li> <li>・ ハローワークで職業適性検査を受けた</li> <li>・ 小学校当時は、卒論対象児として大学生が訓練してくれていた</li> </ul>			
<p>どのような福祉があれば良いと思うか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「障害」という言葉に抵抗がある、知的に高いということが本人のアイデンティティになっている、最終的に障害者という判を押したくない</li> <li>・ 親が亡くなった後などのことを考えると手帳があった方が良いのか</li> <li>・ IQ70以上では療育手帳は取れない、IQではなく行動面を含めて手帳交付の是非を判定すべき</li> <li>・ 障害年金などの制度があっても知らなければ利用もできない、福祉の相談窓口を</li> <li>・ 弁護士への啓蒙を、対象児・者が事故や犯罪に巻き込まれたときの法的なケアを</li> <li>・ 精神障害者のように訪問してくれる地域担当の保健婦などが欲しい</li> </ul>			
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母親 8人</li> <li>・ 知的障害者の福祉制度、精神障害者の福祉制度について質問を受け、回答した。</li> </ul>			

聞き取り調査のまとめ票

訪問地	D	参加者	3人
<p>どのような困難を持っているか</p> <p>A. 19歳(男) 4, 5歳で自閉症と診断された。高校は県立中央農業高校(2年間は全寮制)</p> <p>B. 17歳(男) 普通高校。こだわり傾向。他人への興味はない。勉強は割と良い。「自分はだめだ」「友達とうまくやっていけない」と言う。</p> <p>C. 18歳(男) 中1のときADHD+不器用さがあるといわれた。MBDとも言われた。障害児教育で有名な他県の学園に通った。視覚認知が苦手。特に漢字が苦手。よく迷子になる。</p>			
<p>どのように対応しているのか</p> <p>A. 短大1年(情報処理)現在やめたいといって実家に通ってきている。プログラミングが苦手なためとか。</p> <p>B. 普通高校。県内に4カ所ある通園センターに通っている。</p> <p>C. 全寮制農業系の学校の高3。卒後1年間、農家に住み込み研修をする予定。</p>			
<p>どのような福祉があれば良いと思うか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談する機関があると良い。現状では子供相手のところか精神科しかない。</li> <li>・ 啓蒙活動により皆さんによく実態を知ってもらいたい。</li> <li>・ 対人関係のトレーニング施設を作って欲しい。</li> </ul>			
<p>その他</p> <p>県内にLDネットワークセンターという、医師、保護者、教師、福祉職員(児童相談所)が参加できるグループができてきた。チームアプローチとして興味深い。</p>			

聞き取り調査のまとめ票

訪問地	E	参加者	5人
<p>どのような困難を持っているか</p> <p>A. 11歳(男) West 症候群。知的障害+ADHD(普通学級)</p> <p>B. 16歳(女) 知的障害。療育手帳あり。しかし養護には行っていない。</p> <p>C. 14歳(男) ADHD, こだわり。授業中ボーッとしている。算数 OK。作文は一時間たっても書けない。</p> <p>D. 12歳(男) 意味理解障害。こだわり。一人遊び。</p> <p>E. 18歳(男) 境界域。不器用さ、言語遅滞? 同年齢の子とはうまく行かない。現在就職してからは自分から積極的にコミュニケーションをとるようになった。</p>			
<p>どのように対応しているのか</p> <p>A. 普通学級</p> <p>B. 市立高等専修学校で洋裁をやっている。本人は障害者と言われるのが嫌。</p> <p>C. 普通中学。3歳児検診で問題ないといわれた。</p> <p>D. 小4から養護。3歳児検診で問題ないといわれた。</p> <p>E. 県立養護高校卒。現在特別養護老人ホームの介助員。</p>			
<p>どのような福祉があれば良いと思うか</p> <p>就職</p> <p>会社の中での人の支援をもらえる制度</p> <p>経済</p> <p>知的障害の軽い人にも基礎年金が必要。その家の収入との関連で援助して欲しい。それはそうだがまず援助があることが必要な段階。</p> <p>周知</p> <p>民生委員や児童委員がLDのことを知らない。</p> <p>チーム・アプローチ</p> <p>心理的問題への対応に関して手薄。チーム・アプローチが必要。</p>			
<p>その他</p> <p>この地域には療育センターがあるため、他の地域よりもケアが良くなされている一つのモデル地域とも言える。しかし、それでも以上のような問題があるということ。チーム・アプローチについては、福祉だけでなく、医療、教育との重なりか？」</p>			

聞き取り調査のまとめ票

訪問地	E	参加者	5人
<p>どのような困難を持っているか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・15歳(男) 集団行動が困難。漢字の書字が困難。好きなことには積極的。</li> <li>・11歳(男) 不器用。言葉の意味理解の障害か?</li> <li>・19歳(男) 複視ということが高校生になってはじめてわかった。症状としては聴覚優位のLDと類似であった。</li> <li>・17歳(男) 言葉の遅れ、無表情、自閉的傾向、3歳から5歳ごろまで吃、言葉の意味理解が困難?人間関係がへた。</li> <li>・16歳(男)感情のコントロールがきかない。知的障害とのボーダーゾーンか。</li> </ul>			
<p>どのように対応しているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外の全寮制の高校在学</li> <li>・全寮制職業訓練高校在学</li> <li>・療育手帳の取得</li> <li>・普通高校</li> </ul>			
<p>どのような福祉があれば良いと思うか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者という名前のつかない福祉手帳がほしい。</li> <li>・職業訓練校にLD児も入れてほしい。その枠もほしい。</li> <li>・二次障害に関する相談機関や二次障害に対する精神科医や心理療法士を含めたチームアプローチが重要</li> <li>・LDに対する訓練方法を確立してほしい。</li> <li>・一般就労が可能なようにしてほしい</li> <li>・社会性を学ぶ場所がほしい</li> <li>・知的障害児対象の通勤寮にLDも入れるようにしてほしい</li> </ul>			
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職したLDのお子さんがしばらくすると職場で適応できず戻ってくる例がある。</li> <li>・あまりに小児科の医者がわかっていない。勉強してほしい。</li> <li>・専門家を養成してほしい。</li> <li>・LDであることを夫の両親や教師に知らせたくない。正しく認識してくれれば知らせた方が二次障害を防ぐためにもよいが、理解のなさや地域性から公表することがはばかれる。</li> </ul>			

## 学習障害（LD）児および周辺児・者に必要と考えられる社会福祉的な援助内容に関するアンケート

私たちは、学習に困難を持つお子さんたちの日常生活における困難やハンディキャップの実態を調べ、保護者である皆様方が現在どのようにして対応しておられるのか、また、どのような援助を必要と感じておられるのかについて皆様方のご意見をお聞きしております。昨年度は各都道府県の親の会よりお一人のみにご協力いただきましたが、より多くの方のご意見をうかがうため、このたび、このアンケートへのご理解ご協力をお願いする次第です。

このアンケート用紙は表紙を含めて全部で8ページあります。無記名でご記入いただき、結果については、皆様のご意見として統計的に処理し、他の目的に使用するなど、皆様のご迷惑になるようなことは一切いたしません。忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

なお、誠に勝手ながら、ご回答は会の代表の方にお渡しするか、同封の返信用封筒にてご返送ください。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

アンケート実施者：

宇野彰（国立精神・神経センター精神保健研究所）

堀口寿広（国立精神・神経センター精神保健研究所）

山田裕康（全国LD親の会）

このアンケートについてのお問い合わせは下記にお願いいたします。

〒272-0827 千葉県市川市国府台 1-7-3

国立精神・神経センター精神保健研究所

宇野彰，堀口寿広

Tel: 047-372-0141 (内線 1320, 1322)

Fax: 047-371-2900

E-mail: uno@ncnp-k.go.jp

次の質問について、あてはまる数字に○をつけてください。

1. まず、LDのお子さんを持つ親である、あなたのことについておうかがいします。
  - 1) お子さんとあなたのご関係は?  
お子さんから見て(父親・母親・その他\_\_\_\_\_ )にあたる
  - 2) あなたの性別は?  
男・女
  - 3) 年齢は?  
\_\_\_\_\_歳
  - 4) ご職業は?
    1. 会社員    2. 自営業    3. 技術者    4. 公務員    5. 自由業
    6. 専業主婦    7. パート(週時間)    8. 無職    9. その他(\_\_\_\_\_ )
  - 5) 何人家族ですか?  
お子さんを含めて大人\_\_\_\_\_人, 子供\_\_\_\_\_人
  - 6) お子さんが同居している家族構成は?
    1. 父    2. 母    3. 祖父(父方, 母方)    4. 祖母(父方, 母方)
    5. 兄( )名    6. 姉( )名    7. 弟( )名    8. 妹( )名
    9. その他(具体的に\_\_\_\_\_ )
2. 次に、LDという困難を持っているお子さんについておうかがいします。
  - 7) 何番目のお子さんですか?  
\_\_\_\_\_人中\_\_\_\_\_番目
  - 8) お子さんの性別は?  
男・女
  - 9) 年齢は?  
\_\_\_\_\_歳
  - 10) 学校は?
    1. 小学校( )年生    2. 中学校( )年生    3. 高校( )年生
    4. その他(\_\_\_\_\_ )在学中, 卒業, その他
  - 11) 学校では、どのような学級(クラス)に通っていますか?
    1. 普通学級    2. 情緒障害級(通級)    3. 心身障害児級や特殊学級
    4. 養護学校    5. その他(\_\_\_\_\_ )
  - 12) すでに学校を卒業され、お勤めをなさっている場合
    1. 正社員(常勤)    2. パート(非常勤)    3. アルバイト
    4. その他(\_\_\_\_\_ )
  - 13) お仕事の内容は(具体的に\_\_\_\_\_ )

3. お子さんが困っていらっしゃることにについておうかがいします

14) 具体的には、どのような困難をお持ちですか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 0. 特に困難はない
- 1. 注意や集中の困難
- 2. 書くことの困難
- 3. 読むことの困難
- 4. 不器用さ
- 5. 理解力の困難
- 6. 計算の困難
- 7. 空間認知の困難
- 8. 記憶力の困難
- 9. 視覚認知の困難
- 10. 聴覚認知の困難
- 11. こだわりがある
- 12. 言葉の問題がある
- 13. 対人関係が苦手
- 14. 情緒の問題がある (イライラしやすい, 自信がないなど)
- 15. 学校 (職場) へ行かない
- 16. その他 ( )

15) それらの困難は、お子さんが何歳のころ、気づかれましたか？

\_\_\_\_\_歳ごろ

16) その時どちらへ相談に行かれましたか？

- 1. 教育相談所
- 2. 保健所 (市などの保健センター)
- 3. 病院 (診療科は \_\_\_\_\_ 科)
- 4. 学校
- 5. その他 ( )

17) その時、誰に、何と言われましたか？

誰に：

言われたこと (具体的に)：

18) その時、どのようにお感じになりましたか？ 専門家として改善したいと思いますので、できるだけ具体的にお書き下さい。

19) それらの困難で、現在、どのような不利益 (ハンディキャップ) を受けていますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください

- 1. 授業についていけない
- 2. 誤解される
- 3. 学校の扱いが適切でなかった
- 4. いじめを受けた
- 5. 解雇されるなど職場での扱いが適切でなかった
- 6. 通院医療費がかさむ
- 7. 教育費がかさむ
- 8. その他 (具体的に \_\_\_\_\_ )



20) 今後、ご心配になっていること、考えられる不利益はありますか? あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 就学のこと
2. 就職のこと
3. 結婚のこと
4. 自分が働けなくなったりした後のお子さんの生活のこと
5. その他(具体的に

)

4. それらの不利益に対して、現在どのような対策をとっていらっしゃいますか? また、それらの対策について、どの程度効果があると感じておられますか? どの程度満足しておられますか? それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

21) 塾を利用している

1. はい
2. いいえ
3. 近くには無い

「1. はい」と答えた方にお聞きいたします。現在のその対策について、どのくらい効果があると感じておられますか?

1. とても効果があると思う
  2. どちらかと言うと効果があると思う
  3. どちらかと言うと効果はないと思う
  4. 全く効果はないと思う
  5. どちらでもない
- その対策に、どの程度満足しておられますか?

1. とても満足している
2. どちらかと言うと満足している
3. どちらかと言うと満足していない
4. まったく満足していない
5. どちらでもない

22) 家庭教師を利用している

1. はい
2. いいえ
3. 近くには居ない

「1. はい」と答えた方にお聞きいたします。現在のその対策について、どのくらい効果があると感じておられますか?

1. とても効果があると思う
  2. どちらかと言うと効果があると思う
  3. どちらかと言うと効果はないと思う
  4. 全く効果はないと思う
  5. どちらでもない
- その対策に、どの程度満足しておられますか?

1. とても満足している
2. どちらかと言うと満足している
3. どちらかと言うと満足していない
4. まったく満足していない
5. どちらでもない

23) 教育相談所などの公的相談機関を利用している

1. はい
2. いいえ
3. 近くには無い

「1. はい」と答えた方にお聞きいたします。現在のその対策について、どのくらい効果があると感じておられますか?

1. とても効果があると思う
  2. どちらかと言うと効果があると思う
  3. どちらかと言うと効果はないと思う
  4. 全く効果はないと思う
  5. どちらでもない
- その対策に、どの程度満足しておられますか?

1. とても満足している
2. どちらかと言うと満足している
3. どちらかと言うと満足していない
4. まったく満足していない
5. どちらでもない

24) お子さんが通っている学校の相談室を利用している

1. はい            2. いいえ            3. 学校にはそのような施設が無い

「1. はい」と答えた方にお聞きいたします。現在のその対策について、どのていど効果があると感じておられますか?

1. とても効果があると思う    2. どちらかと言うと効果があると思う  
3. どちらかと言うと効果はないと思う    4. 全く効果はないと思う    5. どちらでもない  
その対策に、どの程度満足しておられますか?

1. とても満足している    2. どちらかと言うと満足している    3. どちらかと言うと満足していない    4. まったく満足していない    5. どちらでもない

25) 病院などの医療機関を利用している

1. はい            2. いいえ            3. 近くには無い

「1. はい」と答えた方にお聞きいたします。現在のその対策について、どのていど効果があると感じておられますか?

1. とても効果があると思う    2. どちらかと言うと効果があると思う  
3. どちらかと言うと効果はないと思う    4. 全く効果はないと思う    5. どちらでもない  
その対策に、どの程度満足しておられますか?

1. とても満足している    2. どちらかと言うと満足している    3. どちらかと言うと満足していない    4. まったく満足していない    5. どちらでもない

26) その他のものを利用している

(具体的に

1. はい            2. いいえ

「1. はい」と答えた方にお聞きいたします。現在のその対策について、どのていど効果があると感じておられますか?

1. とても効果があると思う    2. どちらかと言うと効果があると思う  
3. どちらかと言うと効果はないと思う    4. 全く効果はないと思う    5. どちらでもない  
その対策に、どの程度満足しておられますか?

1. とても満足している    2. どちらかと言うと満足している    3. どちらかと言うと満足していない    4. まったく満足していない    5. どちらでもない

5. それでは、どのような援助・対策があれば良いとお考えですか? また、それらはどの程度重要でしょうか?それぞれについて、あてはまるもの一つに○をつけてください。

27) 学校での個別学習指導

1. とても重要である    2. どちらかと言えば重要である    3. どちらかと言えばあまり重要ではない    4. 重要ではない    5. どちらでもない

28) 担任の教師と専門の教師との連携による教育・指導 (チーム・ティーチング)

1. とても重要である    2. どちらかと言えば重要である    3. どちらかと言えばあまり重要ではない    4. 重要ではない    5. どちらでもない

29) 専門のクラス

1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない

30) 入学におけるLDの枠の創設

1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない

31) 就職におけるLDの枠の創設

1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない

32) 職業訓練・就職相談

1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない

33) 職場での指導者制度 (ジョブ・コーチ)

1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない

34) 家庭への学習障害の専門家の派遣

1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない

35) カウンセリング・相談 (ご本人のための)

1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない

36) カウンセリング・相談 (ご家族のための)

1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない

37) 教師や専門家のための研修制度

1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない

38) 学校への学習障害の専門家の派遣

1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない

39) 通院医療費の軽減 (公費負担)

1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない

6. つぎに、手帳についておうかがいします。

40) 現在お子さんは何か手帳をお持ちですか?

1. 身体障害者手帳 ( 級) 2. 療育手帳 (愛の手帳) (程度は? )  
3. 精神障害者手帳 4. 持っていない

41) LD および周辺児・者のための専用の手帳をつくり、社会的な福祉制度を活用できることについてはいかがお考えですか？

1. 大いに賛成である
2. どちらかと言えば賛成である
3. どちらかと言えば賛成しない
4. まったく賛成しない
5. どちらとも言えない
6. その他 ( )

7. LD および周辺児・者のための福祉制度には、どのようなものが含まれるべきと思いますか？ また、それらはどの程度重視されるべきでしょうか？ それぞれについて、あてはまるもの一つに○をつけてください。

42) 障害基礎年金（障害者のための国民年金で、20 歳未満に発病した場合には保険料を納めていなくても 20 歳になった時点から年金が支給される）

1. 重視されるべき
2. どちらかと言えば重視されるべき
3. どちらかと言えばあまり重視されるべきでない
4. 重視されるべきではない
5. どちらでもない

43) 特別児童扶養手当など（20 歳未満の障害児を養育している父母や養育者に支給される特別手当）

1. 重視されるべき
2. どちらかと言えば重視されるべき
3. どちらかと言えばあまり重視されるべきでない
4. 重視されるべきではない
5. どちらでもない

44) 扶養保険制度（保護者が死亡したり重度の障害になった場合に、のこされた障害者に支給する私的な年金共済制度）

1. 重視されるべき
2. どちらかと言えば重視されるべき
3. どちらかと言えばあまり重視されるべきでない
4. 重視されるべきではない
5. どちらでもない

45) 医療費の公費負担制度

1. 重視されるべき
2. どちらかと言えば重視されるべき
3. どちらかと言えばあまり重視されるべきでない
4. 重視されるべきではない
5. どちらでもない

46) 公共交通機関・公共施設の割引

1. 重視されるべき
2. どちらかと言えば重視されるべき
3. どちらかと言えばあまり重視されるべきでない
4. 重視されるべきではない
5. どちらでもない

47) 税制上の優遇措置

1. 重視されるべき
2. どちらかと言えば重視されるべき
3. どちらかと言えばあまり重視されるべきでない
4. 重視されるべきではない
5. どちらでもない

48) 就学援助のための奨励金

1. 重視されるべき
2. どちらかと言えば重視されるべき
3. どちらかと言えばあまり重視されるべきでない
4. 重視されるべきではない

5. どちらでもない
- 49) 障害者本人の傷害（けが）や、他人に与えてしまった損害の賠償（対人・対物）のための損害保険会社による保険制度（心身障害児者総合保障保険）
1. 重視されるべき      2. どちらかと言えば重視されるべき      3. どちらかと言えばあまり重視されるべきでない      4. 重視されるべきではない
5. どちらでもない
8. 日ごろ感じておられること、今回の質問へのご意見ご感想などございましたら、お書き下さい。

ありがとうございました。皆様の貴重なご意見を大いに活用させていただきたく存じます。